

# 平成24年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申請者	団体名	忠岡町商工会	
	代表者職・氏名	会長 萬野 俊史	
	所在地	〒595-0812 大阪府泉北郡忠岡町忠岡中1-1-23	
	担当者	職・氏名	事務局長 森 孝博
		連絡先	電話番号（直通）： 0725-33-3208
Fax: 0725-32-4880			
		E-mail: <a href="mailto:info@tadaoka.or.jp">info@tadaoka.or.jp</a>	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和35年11月28日  5名（2名）  泉北郡忠岡町  783（平成18年度事業所統計による） 595（平成18年度事業所統計による） 676（86.3%）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工業に関し相談に応じ又は指導を行うこと。 ②商工業に関する情報又は資料を収集し及び提供すること。 ③商工業に関する調査研究を行うこと。 ④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤展示会、共進会等を開催し又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 ⑥商工業に関する施設を設置し、維持し又は運用すること。 ⑦商工会としての意見を公表しこれを国会、行政庁等に具申し又は建議すること。 ⑧行政庁等の諮問に応じて答申すること。 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑩大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業を行うこと。 ⑪商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 ⑫行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑬外国人研修生の受入に関する事業を行うこと。 ⑭前各号に掲げるもののほかその他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

**忠岡町商工会****(1) 事業の目標**

今年度は、上記事業者が抱える問題点と課題を的確に把握しその解決を図るため、諸施策のPR・情報発信提供を継続的に実施しながら、約200社に対して経営指導員による企業カルテ・サービス提案を行い、種々の支援メニューの利用を促進し総合的に支援を実施する。

また、地域活性化事業では、大阪府施策に則った事業や単独で実施するよりも広域で実施したほうが効果の上がる事業（企業経営力支援事業、高齢人材発掘、知財戦略支援、求人・求職マッチング事業、展示即売会、創業支援事業）については近隣会議所等とともに広域で実施する。

**(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点**

相談事業では経営指導員が従来の単発的な支援では終わらないよう事業者のニーズや本人も気づいていない課題把握に努め的確にその支援策を提案して行くことに努めた。

販路開拓では、宝塚大学と連携したソフト戦略として学生に店主をアニメキャラ化してもらい、商店等の販売促進に役立ててもらおうと、職員が取材・撮影し大学にデータ提供してキャラ作成、さらに商店・キャラを会報等でPR。一部はホームページ作成するなど広告宣伝効果を高めることを工夫し支援した。

金融支援では地元金融機関や日本政策金融公庫国民生活事業との連携により融資相談会を実施した。

活性化事業においては、商工展示即売会事業では集客増を図るため、近隣商工会と広域連携し、魅力ある出店者の呼び込みや抽選会の実施で地場産業製品の売上アップを図る仕掛け作りに注力した。

**(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況**

相談事業の実施により、地域事業者において商工会経営指導員の的確で親切な対応に対する信頼度が高まり、相談の数もさることながら高度な相談が多く寄せられた。

また、地域活性化事業の実施により、参加した企業及び従業員の意識改革やスキルアップができた。商工展示即売会事業では終日雨模様となる中においても、売上も一昨年と同程度の560万円を一日で達成した。知的財産戦略支援事業では参加企業数こそ目標に達しなかったが、参加者からは知財戦略の必要性を痛感したとの感想や実際にパテント取得に向けた動きもあった。高齢人材発掘・活用支援事業では高齢者雇用の必要性と労使円満な再雇用の実現に貢献できた。ものづくり企業支援事業では大手のものづくり企業の見学では18社が参加し、ロスのない安全で環境にやさしい製品づくりを実践している製造工程の見学によって新しいアイデアのヒントをつかむきっかけづくりとなった。このように実施事業により地域に対して大きな活性化効果があったことが伺える。

**(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題**

相談事業の利用企業や地域活性化事業の参加企業はそれなりの効果と実績を残しているが、地域にはこの事業を利用していないところや参加していない事業所があり、地域全体にこの事業の効果が行き渡っていないことが考えられる。

**(5) 来年度への取り組み**

上記課題を解決するため、今後も相談事業や地域活性化事業の利用事業者が増えるよう広報・PRを行う。実際に「商工会でここまでサービスを行ってくれることを知らなかった。」ということをよく聞くことから、まだまだ施策のPRが必要である。さらに相談事業の支援ツールとして会報等を利用して、「商工会でできるサービス」を具体的に提案し相談内容の掘り起こしにより、その解決を図ることによって更なる地域活性化を図るよう努力する。

忠岡町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

①相談事業を積極的に進めるため、年6回町内新聞折込する会報誌により、最近の相談例を具体的に記載し相談に対する敷居を低くすることにより新規の相談利用者の発掘を図るとともに過去の相談利用者にアプローチをかけ、企業の抱える潜在的な相談需要を引き出し、従来に増して高度な支援につなげることにポイントをおいた。

②景況悪化が長引き資金繰りに窮する事業者を救済するため、過去の融資紹介リストをもとにアプローチをかけ、マルケイ融資をはじめ大阪府制度融資や日本政策金融公庫国民生活事業のプロパー資金融資の紹介やあっせんにつなげることにポイントをおいた。  
成果として、金融支援（経営指導型）20社、金融支援（紹介型）26社。

③労務支援では、セミナーとの相乗効果を狙った支援が功を奏した。代表支援事例としては、23年度実施の不払い残業対策セミナー及び24年度実施の高年齢人材発掘活用支援事業に参加した事業者が退職した元社員の依頼により監督署の指導及び弁護士より2年間の不払い残業代の支払い請求を受け、商工会の労務相談支援により解決。また、定年を迎えた社員の再雇用について最適賃金を具体的に事業者及び社員に提示して定年後の継続雇用を円滑に進めることができた。

④他の会議所・商工会の経営指導員との連携支援に着手した。本会の人的資源を有効活用するひとつの試みとして他の会議所や商工会からの相談案件の解決について相談事業者の紹介を受け課題解決をはかった。代表支援事例としてはA商工会に相談のあった労務問題で、従業員の能力不足から事業者は解雇を考えてA商工会に相談→忠岡町商工会経営指導員に紹介→A商工会指導員及び事業者と面談し解雇のリスク説明をして条件提示による退職勧奨で円満解決。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	214	212	99.1%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	32	32	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	26	26	100.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	20	20	100.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0		
資金繰り計画作成支援	事業所	21	21	100.0%	5
記帳支援	支援数	55	55	100.0%	5
労務支援	支援数	58	59	101.7%	5
人材育成計画作成支援	事業所	3	3	100.0%	5
マーケティング力向上支援	事業所	20	20	100.0%	5
販路開拓支援	事業所	41	41	100.0%	5
事業計画作成支援	事業所	13	15	115.4%	5
創業支援	事業所	3	3	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0		
コスト削減計画作成支援	事業所	16	16	100.0%	5
財務分析支援	事業所	7	7	100.0%	5
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	13	13	100.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
結果報告	事業所	212	213	100.5%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

経営指導員では対応できない高度で専門的な相談に対して、弁護士や税理士という専門家による相談事業を実施。

法律相談は年6回奇数月に弁護士が商工会事務所において個別に無料で実施し、中小企業の事業上の法律にかかわる相談を受ける。法律相談は1回の相談ではなかなか効果が上がらないものであるが、代表的な成果としては、契約、損害賠償、取得時効など不動産がらみの案件において事前に法律の解釈を弁護士が説明することにより相談者が的確な対応ができる効果があった。

税務相談では、相続・贈与・海外居住者の確定申告・法人の解散・譲渡所得など税理士でないと対応できない専門的な相談が目立った。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	延相談件数	18	17	94.4%	5
税務相談	継続	延相談件数	12	13	108.3%	5

忠岡町商工会

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

地域活性化事業では、販路開拓の商工展示即売会事業や忠岡まるごと販促強化事業、労務対策の高年齢人材発掘・活用支援事業、ものづくり企業支援事業、知的財産戦略支援事業といった多岐にわたる支援事業を単独あるいは広域の幹事として行った。

「商工展示即売会事業」では泉州地域の優れた製品や商品の販売結果だけでなく、企業の認知度アップや消費者ニーズの収集にポイントをおいて実施し、雨天にも関わらず一日の販売額が560万円を達成するとともに、忠岡町以外の出店者から来年も出店し多くの来場者に他の製品のPRを行いたい旨の高い評価をいただいた。

先進的な試みとして実施した「忠岡まるごと販促強化事業」は、宝塚大学と連携し小売商店やサービス業の店主をアニメキャラ化することにより販売促進において消費者との距離や購買層の拡大を狙ったのもので価値・イメージ・個性での差別化を図るため現在進行形ではあるが2年目に向けて全体像が見えつつある。

「ものづくり企業支援事業」では大手ものづくり企業（トヨタ紡織滋賀株）の技術開発や製品開発・安全・環境対策のノウハウを吸収し、中小企業が自社の製品開発に活かすことをポイントにおいて実施。

「知的財産戦略支援事業」は知的財産戦略の基礎を事業者に学んでいただき知財戦略の理解と経営戦略に活かしてもらうことを念頭に実施。また、同時に開催した個別相談では実際に実用新案登録の記載方法についての相談や権利関係の相談に対して弁理士が対応した。さらに当日受講された企業が後日相談に訪れ、金属製品の製品開発について実用新案の特許を取得したいと相談があり現在発明協会と調整中である。

「高年齢人材発掘・活用支援事業」は60歳定年と継続雇用・再雇用において複数の法制度がから難解な対応を迫られる小規模事業所に対して各制度ごとの基本知識の確認と制度設計を整え対応していくことにより高齢者の雇用や発掘について積極的になっていただくよう支援した。成果としては相乗効果として7件のカルテ化案件があり個別サポートを実施済み。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
	ものづくり企業支援事業	15	17	113.3%	95	アンケートの満足度	4	4.7	117.5%	5
○	忠岡まるごと販促強化事業	40	28	70.0%	50	来店客数の増加割合	4	1.35	33.8%	3

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	商工展示即売会事業	30	30	100.0%	70	アンケートの満足度	4	3.8	95.0%	4
○	知的財産戦略支援事業	30	14	46.7%	95	アンケートの満足度	4	4	100.0%	4
○	高年齢人材発掘・活用支援事業	30	30	100.0%	75	アンケートの理解度	4	4	100.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

忠岡町商工会

事業名		ものづくり企業支援事業																																							
想定する実施期間		23 年度～ 24 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地区内の繊維産業をはじめとするものづくり企業は、海外の安価な製品等の輸入による打撃や大手企業の製造現場の海外移転等により、受注額が大幅に減少し活力がなくなっている。この現状を付加価値の高い製品開発や技術力・新しいアイデアを活かした事業展開により、研究開発型の企業体質に改善し、問題解決していくことを目的とする。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	繊維関係業種およびその他のものづくり企業200社およびものづくり企業への業種転換に興味のある企業。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>7月 忠岡町担当者と企画会議において見学先候補を選定 (数社を選定し最終トヨタ紡織と井筒ハッ橋本舗に決定)</p> <p>9月下旬 事業内容の周知と募集を案内チラシで実施。商工会窓口、役場窓口、郵送等。</p> <p>10月18日(木)トヨタ紡織滋賀(株)並びに井筒ハッ橋本舗の製造工場見学を実施し、研究開発の苦労話や製造工程の見学など通じて意見交換を実施。参加者は役場商工担当課長を含め22名で支援企業数は17社。</p> <p>&lt;事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">商工担当課長が見学先の選定会議に出席並びに事業実施に同行。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">カルテ化には至らなかったが、簡易な相談があり次年度カルテにつなげたい。</td> </tr> </table>								①府施策連携								②広域連携								③市町村連携	商工担当課長が見学先の選定会議に出席並びに事業実施に同行。							④相談相乗	カルテ化には至らなかったが、簡易な相談があり次年度カルテにつなげたい。						
	①府施策連携																																								
	②広域連携																																								
③市町村連携	商工担当課長が見学先の選定会議に出席並びに事業実施に同行。																																								
④相談相乗	カルテ化には至らなかったが、簡易な相談があり次年度カルテにつなげたい。																																								
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	17	支援実績率	113.3%	満足度	95.0																																	
事業の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>大手のものづくり現場の現状や取り組みを見学することにより、製品開発やコスト意識に対してマニュアルだけでなく「自ら考え、自ら働く」というスローガンを実践し、環境配慮や安全意識を維持しながら目標達成している企業の取組みを学ぶことができた。特に、完成品の検査には厳しく塗料の1ミリに満たないキズも見逃さず製品出荷を止めその原因追求に時間と労力をかける姿勢に感服した。</p> <p>また、夏場の電力不足の懸念に対して、自家発電装置を購入した話について資金投入の慎重さとスピードを併せ持つ意思決定について見学者は驚きを隠せなかった。ここに中小企業者の気づきがあったと思われる。</p>																																							
		指標	アンケートの満足度																																						
		数値目標	4	実績数値	4.7	目標達成度	117.5%																																		
成果の代表事例	帆布加工の会社の製造部門担当者が参加して、「工場内の仕事が明確に分担されていてわかりやすかった。合言葉である「自ら考え、自ら働く」等のスローガン、そして、〇〇道場を設置し定期的に実技指導していることに驚いた。」とその時の感動をアンケートに記している。																																								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回は見学先の確保に苦労した。こちらが見学を希望する会社が情報漏えいを懸念して見学の受け入れ拒否したり、日程が合わなかったりと。最近では産業観光自体が注目され観光としての企業の受け入れは増えているものの、本当の企業視察の受け入れ先は少ない。25年度は補助金事業としては実施しないが、一般事業として開催を予定している。																																							

忠岡町商工会

事業名		忠岡まるごと販促強化事業							
想定する実施期間		24 年度～ 25 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	忠岡町内の小売業(飲食業を含む)・サービス業は、他の地域同様に厳しい価格競争にさらされており、さらに若年者は大手フランチャイズ店舗等を利用する傾向にあり、ますます売上低下が懸念されます。そこで、本事業を実施することにより、価値・イメージ・個性での競争を行っていただき、若年者の店舗利用を促進します。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	忠岡町内の小売業(飲食業を含む)・サービス業、約250店舗。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	宝塚大学の造形芸術学部と連携し、忠岡町内の小売業(飲食業を含む)・サービス業の店主・店舗・商品をキャライラスト化し、チラシ・POPでPRすることで、住民と店舗とのコミュニケーションを発生させるきっかけをつくり、若年層にも親しみやすい店舗となっただき、本当に価値あるもの・サービスを手に取り、肌で感じていただき、価格競争から価値競争、イメージ・個性での差別化競争を行っていただき、忠岡全体で販売促進を行う。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	さまざまな年代・業種のキャライラスト作成を通じて、ラフの作成、色つけなどコンテンツ産業を担う人材として学生のスキルアップを図ることができている。						
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談相乗	取材活動を通じて、お店の困っていること、伸ばしていきたいと考えている商材などについて深くお話をすることで、相談事業で解決すべき課題が明確になった。							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40	支援企業数(実績)	28	支援実績率	70.0%	満足度	50
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	想定どおり小売業、飲食業、サービス業は、従来以外の新たなPRツールを探しており、キャライラスト化のニーズは多い。完成したキャライラストに対する満足度は高く、DMやPOPなどに活用できている企業がいる一方で、ホームページ等の作成・活用への展開を要望する声も多く、計画途上の企業も多い。先発した5企業については商工会報(町内へ新聞折込)へ掲載でき、紙媒体でもPR支援を行うことができ、町内の方からの良い感触の反応もあったとのこと。また、4企業については、キャライラストを活用したホームページを完成しており、今後同種のホームページを増やし、まとまりとしてPRすることで、アクセス数が増え、実際のお店にリアクションが発生することが想定される。							
		指標	来店客数の増加割合						
		数値目標	5段階評価中4以上	実績数値	5段階評価中1.35	目標達成度	33.8%		
	成果の代表事例	5企業については、商工会が直接的に紙媒体でのPRを支援することができ、新聞折込後には、お店へのリアクションが発生した。また、4企業については、商工会がキャライラストを活用したホームページを作成し、商工会のサーバへアップロードし、PRに努めている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	大学の本事業は各個店が単発でPRするための事業ではなく、50店舗以上で集団として一斉にPRすることで価値を発揮する事業であるため、本年度はキャライラスト作成後の活用についても各店舗のニーズを聞き取りつつ、一斉に情報発信できるための準備期間であり、2年目以降に本格的な来店客数の増加につなげることで目標値に到達する。また、大学の制作スケジュールの遅れについては、継続して急いでいただくよう依頼を行い、25年5月下旬までに改善が見られない場合は、A大学や専門学校等への連携拡大を含めて検討する。連携拡大を行うことで、学生の技術レベルについての競争が生まれ、よりよい結果を生むものとする。							

忠岡町商工会

事業名		商工展示即売会事業							
想定する実施期間		22 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	空洞化する製造業とそれに伴い衰退する商業者を支援するため、忠岡町及び泉州地域の製造業や小売業を中心とした企業の優れた製品や商品をエンドユーザーへの販売することおよび大阪府技能士連合会と連携したものづくり教室の開催により、企業の認知と製品PR及び消費者ニーズの収集や若者にもものづくり体験の場を提供することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	忠岡町を中心に泉州地域の中小企業者とする。主にものづくり企業や小売・卸売業を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	日時：平成24年11月11日(日) 会場：忠岡町民グラウンド 出展企業：30社 「良い製品(商品)をより安くをモットー」に企業と消費者のコミュニケーションをはかるイベントを実施。また、大阪府技能士連合会との連携によりものづくり教室を開催し若者にものづくり体験の機会を提供する。 11月10日に近隣市町村に30,000枚のチラシ折込により、来場促進。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	技能士コーナーを開いていただき、ものづくり企業が有する技術や技能をわかりやすくアピールしていただいたことで、幅広い年代の方にもものづくり体験の機会を提供していただき、ものづくりへ関心を寄せていただくことができた。							
	②広域連携	阪南地域の商工会が広域連携を行うことで、エリアを広げ、効率よく商品等をPRする機会を創出することができた。							
③市町村連携									
④相談相乗	相談事業で提案した改善をイベントで大勢の消費者を相手に実践していただくことができた。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	30	支援実績率	100.0%	満足度	70
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回から大阪府技能士会連合会のご協力により、技能士コーナーを設置していただいたことで、ものづくり企業が有する技術や技能をわかりやすくアピールいただけ、幅広い年代の方にもものづくり体験の機会を提供いただけ、たくさんの方にもものづくりへの関心を持っていただくことができた。 また、熊取町、泉南市、阪南市、岬町の企業にもご出展いただき、広エリアの方にPRを行っていただくことができた。							
		指標	アンケートの満足度						
		数値目標	5段階評価中4以上	実績数値	5段階評価中3.8点	目標達成度	95.0%		
成果の代表事例	A店においては、雨天にも関わらず、昨年比154%の販売実績となり、出店がきっかけで卸売先が1件増加。また、他のイベントにも積極的に案内し、出店。								
その他目標値の実績	目標値(計画)	3,000	目標値(実績)	5667	目標達成度	188.9%			
	出店企業30社×100名の来店者の目標に対し、各店合計で延5667名の来店があった。(客単価1,000円、対象店舗の総売上高5,667,600円)								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は、雨天のため来場者数が減少しており、会場での滞在時間も例年に比べて短くなっていたため各店においても平均的には売上が低下し、思うようなPR効果を得ることができなかった。 雨天においても来客数を伸ばし、各店のPR効果をあげることができるよう、今までの来店層以外の層(大学生等)の来場を促進する。							

忠岡町商工会

事業名		知的財産戦略支援事業							
想定する実施期間		24年度～24年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	小規模事業所は技術力がありながら知的財産への理解不足からその力を十分発揮できていない。地域内の小規模事業所が知的財産戦略を実践して競争力のある企業となっていたため、広域による知的財産セミナー等を実施して特許や商標への理解を深めていただき技術の価値の再発見と今後の経営戦略に活かしていくことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	高石市・泉大津市・和泉市・忠岡町の製造業・サービス業を中心に全業種の事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時 平成24年9月27日(木) 13:30～16:00 ②開催場所 泉大津商工会議所 2階 大会議室 ③講師 第1部 知的財産制度について 大阪府ものづくり支援課 総括主査 河嶋 憲治 氏 第2部 わかりやすい商標セミナー IPシード特許事務所 弁理士 華山 浩伸 氏 ④内容 大阪府河嶋氏からは知的財産制度の全体について初歩的な内容を説明。華山弁理士からは判例や最近新聞などで取り上げられた案件についてなぜそのようなことが起きたか、どうすれば回避できたかなどについてわかりやすく解説していただいた。							
		<事業手法(①施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府ものづくり支援課との連携により企画段階から摺り合わせを行い第1部の講師を務めていただいた上、適切な弁理士をも紹介いただけた。						
		②広域連携	広域連携により企画会議を開催し、9月号の各所広報誌やHPでの周知を行った。						
③市町村連携									
④相談相乗	カルテ化には至っていないが、相談案件として継続支援しているものがある。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	14	支援実績率	46.7%	満足度	95.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アンケート結果から知的財産制度についての基礎的なことが理解できた、知的財産戦略や商標取得の必要性・効果について理解できたとの回答が多数を占めた。全体の理解度ではよく理解できた・やや理解できた・理解できたの回答が95%となった。また、満足度では満足・やや満足を含めると81%に達した。このように所期の目的である理解度・満足度で目標を達成することができた。しかしながら、支援企業数が目標に大きく及ばず苦労した。大阪府ものづくり支援課から提供のあった日本弁理士会発行の「ヒット商品はこうして生まれた」は身近な商品などの特許や商標などの裏側がわかると好評であった。このように企業の戦略として知的財産が必要であることを認識していただけた。個別相談として3件の具体的な相談があり、相談者はますますその重要性に気付いた。							
		指標	アンケート結果(理解度・満足度)						
		数値目標	4	実績数値	4	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	セミナー参加者の中で現在開発中の製品について特許か実用新案の申請を行おうと計画しており試作品を商工会に持ち込み相談。今後は発明協会へ繋ぐことにより特許あるいは実用新案の申請を実施していく予定である。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォ	広域での実施であったがセミナー参加者が思うほど伸びず苦労した。24年度の知的財産等の地域活性化事業は大阪府内17の会議所・商工会で実施した経緯から、大阪府ものづくり支援課の広報協力があつたものの参加者が分散した可能性がある。今後の知財相談に対しては発明協会と連携して無料の相談支援を実施する予定である。							





忠岡町商工会

事業名		高齢人材発掘・活用支援事業							
想定する実施期間		24年度～24年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	60歳定年を迎えた後に継続雇用・再雇用されず、65歳までの間に年金が受給できず無収入になる方、または報酬比例部分の厚生年金しか受給できず低収入になる方が増え、企業においても熟練労働者を喪失し、社会問題化している状況にあります。企業の人事担当者に各種公的制度を正しく理解していただくことにより、制度設計を整え、低コストでの熟練高齢労働者の雇用発掘・維持を促進します。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	定年間近の高齢労働者を雇用する全業種の大阪府内の企業および定年後の高齢者雇用を検討する全業種の大阪府内の企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時：平成24年9月19日(水) 15:00～17:00 ②開催場所：泉大津商工会議所 2階大会議室 ③講師：社会保険労務士 南一啓氏、大阪府 雇用対策課 直山 葉子氏 ④内容 年金、雇用保険、税金の関連性を説明し、再雇用時の賃金シミュレーションを説明。また、高齢者雇用安定法の改正により必要となる再雇用基準、再雇用の契約内容の対策についても説明し、実践を促すため「定年再雇用マニュアル」を贈呈。 B氏より大阪府の高齢者雇用就労支援の取組みについて説明。 <事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所による広報協力により、参加者数が従来より増え、大阪府より高齢者雇用就労支援についての取組みや高齢者の人材活用好事例をご紹介いただいたことにより高齢者採用によりご興味を持っていただけたことがアンケートからうかがえる。						
		②広域連携	広域連携を行った商工会・商工会議所において会報・ホームページ等で広報を行い、運営の役割分担等を決定。単独実施より効率的な事業実施となった。						
	③市町村連携								
	④相談相乗	9件のカルテ化事案があり、個別サポートを実施済み。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30	支援企業数(実績)	30	支援実績率	100.0%	満足度	75
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	複数の制度に関する知識を織り交ぜて運用する必要がある再雇用手続について、各制度ごとの基本事項を理解していただくことができた。 また、平成24年8月29日に成立したばかりの法改正の内容について、実務的に注意しなければならない点を周知することができた。 雇用保険の助成金や大阪府の取組みについて説明を行ったことで、高齢者の雇用について興味をもっていただくことができた。							
		指標	セミナーアンケートの理解度						
		数値目標	5段階評価中4以上	実績数値	平均値4	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	セミナー後に相談事業により、1社で2名の再雇用プランを作成し、労働者などとも直接面談を行い、労使円満な再雇用を実現。 本セミナー実施後に、セミナー資料転用依頼があり、また兵庫県の西脇商工会議所より同内容でセミナー依頼があり、50名程度が参加された。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	セミナーを受講できず、再雇用や高齢人材の活用について困っている事業者に、相談事業によりフォローアップを行う。							